

下関支部事業報告

支部長 小山亜弥

活動目標	地域包括ケアに求められる看護力の強化と連携 1)地域教育ネットワーク(認定マップ)を活用する 2)臨床現場の看護実践能力の底上げを行う
評価と今後の課題	今年度はほぼ計画通りに実施でき、コロナ禍前と同様の形式で行うことができた。今後は支部に求められる役割について検討しながら、会員および地域へ貢献していきたい。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)一般教育研修(教育委員会主催) R5.10.27(金)「高齢者のフィジカルアセスメント循環器編～不調のサインを見逃すな～」受講者50人 R6.2.22(木)「身体抑制ゼロの認知症ケア～身体抑制しないためのかわり方の基本と対応の実際～」受講者33人
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援 県協会主催事業への協力 2)看護職の人材確保・就業支援 (1)各施設の職場体験等で、進路相談を実施し就業促進を行う (2)市内への就業促進目的として、看護学校との情報交換を行う
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)「看護の日」「国際助産師の日」PR事業 (1)各施設で看護の日及び看護週間行事の開催 (2)R5.5.21(日)「看護の日」イベント、「国際助産師の日」事業、合同開催 2)健康相談・啓発等の事業 (1)まちの保健室開催8回 (2)地域行事での救護協力R5.11.5(日)海峡マラソン 参加者31人 3)在宅療養支援のための看護職連携推進研修 検討会3回 研修会R5.10.31(火)「在宅療養支援へ向けて地域との連携」受講者33人
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	1)会員への福利厚生 (1)研修会開催(職能委員会主催) R5.6.6(火)「グリーンケア～死に直面した本人と家族・大切な人を亡くした家族に、あなたはどのように関わることができますか～」受講者52人 R5.9.28(木)「聴覚障害者に対する医療現場での対応」受講者24人 (2)会員交流会 未実施
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益/収益等/法人)	1)支部活動の充実 (1)支部集会 R5.7.21(金) 出席者78人 委任状1333人 (2)支部役員会 7回 (3)支部委員会 職能委員会 4回 教育委員会 4回 2)支部組織強化 (1)地域会議への出席 ①下関市医療対策協議会3回 ②新下関市立病院基本構想検討委員会2回 ③下関市立市民病院評価委員会2回 ④下関市高齢者保健福祉推進会議4回 ⑤下関市医療的ケア児支援地域連携会議2回 ⑥下関市医療・介護ネットワーク協議会9回 ⑦認知症下関大会1回 ⑧下関市防災会議1回 ⑨下関海峡マラソン実行委員会1回 ⑩診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬及び保育等の公正価格の大幅改定を求める決起大会1回 (2)広報活動 県協会報「きらめき」への投稿(10月) (3)訪問看護ステーション協議会や看護学校、地域医療に携わる看護職、特に未加入施設に研修会参加や看護協会入会を積極的に働きかける 未実施